

桐生市立商業高等学校 (定時制) 学校評価一覧表① (平成28年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> アンケートによる実態把握 生徒一人ひとりに対する声かけの徹底を図る。 地区定通制高校との連携強化 生徒会を中心とした企画・運営の指導と実践 アンケートによる実態把握 「ふれあいの時間」における他学年との交流と、生徒一人ひとりに対する積極的な関わりを推進する。 アンケートによる実態把握 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の81%、保護者の91%が楽しい学校生活を送っており、学校が好きだと回答している。生徒支援を継続したい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の84%、保護者の88%が楽しい学校生活を送っており、学校が好きだと回答している。引き続き生徒を支援したい。
		②球技大会や地区体育大会などの特色ある学校行事に生徒の80%以上が満足している。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の81%、保護者の79%が積極的に参加していると回答している。左記大会の意義等を浸透させたい。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の75%、保護者の78%が積極的に参加していると回答している。各大会の趣旨を理解させた上で取り組ませたい。 		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④授業に対する生徒の評価を実施して、授業改善を推進する。「授業が分かりやすい」と回答する生徒の割合が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に応じた協働的な学習(学び合い学習)を毎時間実践する。 アンケートによる実態把握 各種検定試験合格に向けた授業等を工夫する。 授業改善の推進と生徒の実態に応じた補講を実施する。 アンケートによる実態把握 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の87%、保護者の95%が分かりやすい授業が行われていると回答している。言語活動の充実を踏まえた授業改善を継続したい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒89%、保護者の85%が分かりやすい授業が行われていると回答している。アクティブラーニングの実践を通じた授業改善を継続したい。
		⑤簿記や情報など資格取得に向けた指導に生徒の80%以上が満足している。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の87%が意欲的に取り組んでいると回答している。資格取得のための支援を継続したい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の71%保護者の78%が意欲的に取り組んでいると回答している。資格取得することの大切さを継続して指導したい。 		
3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑥定期テストや検定試験のために学習をする生徒の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 学習の基礎・基本の定着のための授業内容及び指導法の改善を図る。 定期試験直前や試験中の家庭学習を促す指導を継続する。 単位の履修・修得の重要性を認識させ、不振科目をなくすための指導を各学期1回、全校集会等での場で行う。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の68%が学習していると回答している。仕事をもつ生徒にとっても学習しやすい指導方法の改善を継続したい。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒70%、保護者61%が学習していると回答している。仕事と学習の両立を可能にする指導方法の改善を継続したい。
		⑦成績不振科目のある生徒の割合が10%未満である。		<ul style="list-style-type: none"> 1学期に成績不振科目をもつ生徒数は5人でその割合は10.4%であった。学習指導を継続したい。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 2学期に成績不振科目をもつ生徒数は7人でその割合は14.9%であった。学習支援を継続したい。 		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を毎日実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の職員打合せにおいて生徒に関する情報交換と共通理解を行い、定期考査後には情報交換会を実施する。 充実した学校生活を送るための指導・支援を確立する。 アンケートによる実態把握 	A		<ul style="list-style-type: none"> 毎回の職員打合せにおいて、生徒に関する情報交換を欠かさず行っている。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 毎回の職員打合せにおいて、生徒に関する情報提供を呼びかけ、情報交換を行っている。
		⑨学校の生活指導(あいさつ、頭髪・服装、遅刻・早退指導等)が適切であると回答する生徒・保護者の割合が80%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の96%、保護者の91%が適切であると回答し、本校の指導に対して理解を示している。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の91%、保護者の90%が適切であると回答している。登校時指導、下校時指導においてもあいさつ運動を行った。 		
5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で全生徒を指導する体制を確立させる。 アンケートによる実態把握 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の13%がいじめを目撃し、保護者の14%が子どもからいじめの話を知っている。アンケート調査や個人面談等を通して実態を把握し、解消に努めるとともに、発生防止に全職員の力を結集して臨みたい。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の14%がいじめを目撃し、保護者の7%が子どもからいじめの話を知っている。教育相談・いじめアンケート及び個人面談等を確実に実施してその実態を把握し、解消に努めるとともに、発生防止に全職員の力を結集したい。
		⑪欠席率が10%以下、遅刻率が20%以下である。		<ul style="list-style-type: none"> 1学期の欠席率は昨年度とほぼ同じ、7.6%であった。学校家庭間の連携強化を継続したい。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 2学期の欠席率は11.5%であった。学校家庭間の緊密な関係づくりを継続したい。 		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑫交友関係がうまくいっていると感じている生徒の割合が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭、SCを含む教育相談体制を確立させる。 アンケートによる実態把握 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の91%がうまくいっていると回答している。生徒に対するきめ細かい指導を継続したい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の86%がうまくいっていると回答している。指導の継続を図りたい。
		⑬適性や希望などを生かした計画的な進路指導を行っているか。		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の87%が計画的な進路指導を行っているかと回答している。指導の継続を図りたい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の79%保護者の75%が計画的な進路指導を行っているかと回答している。引き続き指導の継続を図りたい。 		
7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑭進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒の割合が70%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> LHR等を活用した系統的なキャリア教育を実践する。 就業の促進と就業経験を生かした進路指導を行う。 進路希望調査の実施と個に応じた指導を実践する。 全日制進路指導部やハローワークと連携し連携し、進路資料等を有効に活用する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の68%が積極的に取り組んでいると回答している。進路行事の内容の充実を継続したい。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の81%が積極的に取り組んでいると回答している。進路行事の内容の充実を求め指導の継続を図りたい。
		⑮保護者面談等に積極的に参加している保護者の割合が70%以上である。		<ul style="list-style-type: none"> P.T.A総会、保護者面談の案内・返事の確認を徹底する。 アンケートによる実態把握 在校生の活動状況や入検情報を随時更新する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の85%が積極的に参加していると回答している。保護者への働きかけを継続したい。 	A	A
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑯Webページを学期に50回以上更新している。			<ul style="list-style-type: none"> 1学期に67回更新した。引き続き情報発信に努めたい。 	A		<ul style="list-style-type: none"> 2学期に70回以上更新した。生徒、保護者にとって必要な情報の発信を継続したい。 	